

OS01-3 製薬企業におけるキャリア形成について

○森 しのぶ¹

¹アステラス製薬

創薬研究は多様性を増し、新薬ビジネスを軸とした製薬企業が成長するにはイノベーションの創出・取り込みが必須である。そのため、企業では研究所を中心に多様な成果を創出し統合することが重要であり、多様な発想を生み出す多様な研究員を必要としている。研究員の専門領域の多様性はもちろん、性別・人種・年齢等の観点で更なる多様化が期待されている。多様な研究員が活躍するには、魅力的なキャリア形成のイメージを持てる環境も重要である。研究員がキャリアの中で活躍する場は多岐にわたり、例えば多様な知識や視点を必要とする開発や戦略などに関わる部門がある。キャリアパスとしては、主に専門性を極めるパス、組織マネジメントや意思決定に関与するパス、既存の枠組みを超えて革新的なアイデアを実現するパスに複線化されている。アステラス製薬では、様々なキャリアの中で女性を含む多様な社員一人ひとりが高い生産性や創造性を発揮し自己実現を可能にするため、「WIND プロジェクト」や「働き方改革」を推進している。結果として、多様性の向上に一定の効果が認められており、特に女性に関してはライフイベントや会社の要請により想定と異なるキャリアパスを描くことになった際にも前向きにキャリア形成を継続するケースが増加している。マネージャー層の女性比率も増加し、多様な視点による組織運営が実現されつつある。本講演では、自身の例を交えながら製薬企業での研究員のキャリア形成を考える上で参考になる話題を提供したい。